

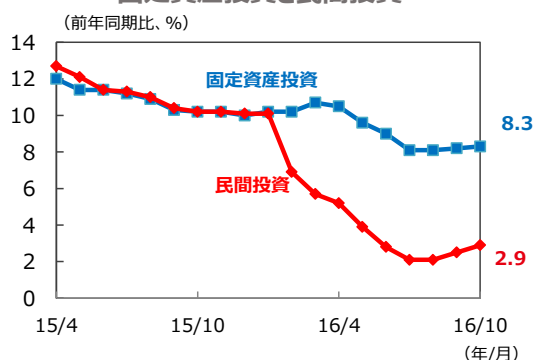
今日のトピック 最近の指標から見る中国経済（2016年11月）

民間投資の持ち直しで景気は安定的な推移へ

ポイント1 固定資産投資の伸び拡大 民間投資の伸びが加速

- 1～10月の固定資産投資は前年同期比 +8.3%と、1～9月（同+8.2%）から増加率がやや拡大しました。固定資産投資全体の約6割を占める民間投資の伸びは同+2.9%と、1～9月（同+2.5%）から加速しました。
- 10月の鉱工業生産は前年同月比 +6.1%となり、9月から横ばいでした。
- 10月の小売売上高は前年同月比 +10.0%と、9月（同+10.7%）から伸び率が鈍化しました。自動車販売が、9月の同+13.1%から10月に同+8.7%へ減速したことが主因です。

固定資産投資と民間投資

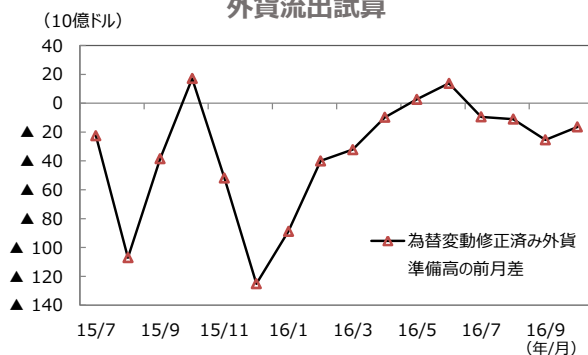


(注) データは2015年4月～2016年10月。年初来累計の前年同期比。1月、2月は1-2月平均の前年同期比。数字は2016年10月。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 外貨準備は小幅な減少 大規模な資金流出は見られず

- 10月末の外貨準備高は9月末より457億ドル少ない3兆1,207億ドルでした。ただし、為替変動の影響を除いて前月差を見ると、9月の249億ドルから10月には168億ドルへ流出額が縮小した計算となります。外貨準備の流出額は比較的落ち着いており、足元では大規模な資金流出は見られません。

外貨流出試算



(注) 外貨準備について為替変動修正を反映させた前月差。データは2015年7月～2016年10月。
(出所) 中国国家统计局のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開 民間投資の持ち直しで景気は安定的な推移へ

- 今月の主要経済指標で最も注目されるのは、固定資本投資における民間投資が伸びてきていることです。中国政府の景気支援の姿勢が民間企業の経営者に認識された結果、民間投資が7月を底に回復してきたものと考えられます。民間投資の持ち直しは、財政政策への依存を多少低下させても景気には大きな問題が生じにくいことを示唆しています。大規模な資本流出も見られないことから、景気は安定的な推移を続けることが可能と見込まれます。

ここもチェック! 2016年11月 1日 習近平総書記を権威づけた「6中全会」(中国)
2016年10月25日 「70都市住宅価格指数」は上昇(中国)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。